

令和7年度

令和7年3月25日

次年度に向けた改善方策

翠と溪の学び舎 世田谷区立尾山台中学校
校長 永野 祥夫

1 報告から読み取ることについて

【成果として】

- ①生徒・保護者ともに学校行事や部活動への評価が高い。
- ②学校生活は、生徒にとって達成感がある。

【課題として】

- ①保護者へ本校の指導の重点が十分に伝わっていない。
- ②地域への情報提供が十分に伝わっていない。

2 報告を受け、今年度の学校経営方針への位置づけについて <一部抜粋>

- ①自分のよさや可能性を信じながら、何事にもチャレンジする。
- ②保護者・地域の方との連携を深め、生徒指導を包括的に進める。
- ③困難にもあきらめず、最後まで粘り強くやりぬく生徒の育成。
- ④地球の一員として、自ら行動すると共に、SDGs目標を「自分事」とする。
- ⑤夢をかなえてくれる手立てがたくさんある学校。

3 次年度の方針について

- ①昨年度（またはそれ以前）との変容を比較するために、引き続き同様項目のアンケートを実施。
- ②評価の分析および、編集を学校関係者評価委員会に依頼を引き続き行い、本校への学校経営方針の指標としていく。

学校関係者評価委員会の報告を受けて
翠と溪の学び舎 世田谷区立尾山台中学校長 永野 祥夫